

| | |
|----|-----------------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 『訪問支援』 |
|----|-----------------------|

| | | | |
|----------------|----------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 株式会社 琉球の空 果実の木 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 4月 1日 | | ～ 令和8年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 4月 1日 | | ～ 令和8年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和7年 4月 1日 | | ～ 令和8年 3月 31日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 4月 1日 | | ～ 令和8年 3月 31日 |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 学校・ご家庭と連携し子どもが安心して過ごせる環境作りを行っています。 成功体験を積み重ね、自信に繋がる支援を心がけています。 | <ul style="list-style-type: none"> 信頼関係づくりを大切にしている。 子どもの気持ちを受け止め、自己表現から成功に繋がる支援の展開を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員間で支援方法の共有を行い、支援の質の向上に繋げていく。 子どもの特性理解を深め、より適切な支援を提供できるよう努める。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 過ごす場所の環境調整や視覚的支援など、子どもが理解しやすい工夫を取り入れている。 子どものペースを尊重しながら、無理のない支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の中で成功しやすい方法を一緒に考え実践に繋がっています。 「できない事」だけでなく『できている事』に注目する方向性を大切にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問先の生活環境を事前に知り子どもの特性にあった環境配慮を実施していく。 研修等を通し専門性を高め、幅広いニーズに対応できる体制づくりを行う。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが困った場面で、先生方と協力しながら支援方法を提案できる。 保護者様の不安や悩みに寄り添いながら、無理のない支援を行なっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の中で成功しやすい方法を一緒に考え実践に繋がっています。 「できない事」だけでなく『できている事』に注目する方向性を大切にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携を図る。情報を元に支援のズレが無い支援を実施していく。 保護者様との情報共有の機会を増やし、安心して相談できる関係作りを継続していく。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 訪問支援の実施時間に限りがあり、継続的な支援の関わりが必要であること。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・関係機関との情報共有を強化一貫した支援体制に繋げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 短時間でもポイントを絞った効果的な支援を行う。 小さな変化や成長を見逃さず、継続的に評価する。 |
| 2 | 職員数や訪問件数によっては、柔軟な対応に制限が生じる事がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員間で支援方法を共有し、より専門性の高い支援を提供できる体制づくりが必要。 特性理解から子どもが困る時間や場面が減る。 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問先の状況に応じて柔軟に支援を行う。 保護者様との連携を密にし、家庭でも取り組める方法を共有する。 |

公表

事業所における自己評価結果

| | |
|------|----------------|
| 事業所名 | 株式会社 琉球の空 果実の木 |
|------|----------------|

公表日 令和8年5月23日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 |
|--------------------------------------|---|--|----|-----|--|--------------|
| 環 境 制 ・ 運 営 ・ 備 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 2 | | 適切な教材で支援を展開しています。 | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | | 人員の配置を考えて訪問日程を組んでいます。 | |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 2 | | 訪問支援サービスとは?の会議を訪問員と児発管も込みで行いPDCAサイクルを考え参画している。 | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | 内容に沿えるよう日々の支援を考え繋げている。 | |
| | 5 | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | 会議やグループLINE等で意見交換を行い業務改善に繋げている。 | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 2 | | 外部評価の目的を知る事。 |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|---|----------------------------------|--|
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | | 2 | | 訪問支援をテーマとした社内研修は少ない事もあり、今後の研修は訪問支援テーマをあげていく。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 2 | | アセスメント・ニーズの分析を行い計画書作成を行っている。 | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 2 | | 児童指導員・専門職も含め検討している。 | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 2 | | 先生の意向(見たい姿)と一緒にイメージしながら作成を行っている。 | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | 計画に沿った支援を行っている。 | |
| | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | | アセスメントツール(ウェーブス)を活用し成長観察を行っている。 | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | 計画に沿った支援を行っている。 | |

| | | | | | | |
|-----------|----|---|---|---|--------------------------------------|---|
| 供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 2 | | 連携し行っている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | | 後日の共有になる場合もありますが緊急性の高い情報共有は当日に行っている。 | |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 2 | | 記録から見える成長や課題を検証・改善に繋げています。 | |
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 2 | | 保護者様、施設先とモニタリングを行い適切な見直しを行っている。 | |
| 関係機 関や | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 2 | | 理解者が参画している。 | |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | | 2 | | 地域の保健・医療の調べが必要。障がい福祉・保育・教育等の関係期間と連携して支援を行う体制は整っている。 |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 | | 前年度の情報共有はカツカツにならないようにある程度期間を決めている。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|-------------------------------|
| 保護者との連携 | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | 2 | | 外部研修の開催を確認する。 |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | 2 | | 自立支援協議会を確認する。 |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 2 | | 共通理解を大切に状況の説明は丁寧に 行っている。 | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 2 | | 家族参加型の研修の機会を取り入れていく 考えを持つ。 |
| 保 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 2 | | 訪問先の先生と日程調整を行い目的の説明を行 い訪問支援を開始している。 | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 2 | | 訪問後の情報共有で意向の確認を行っている。 | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 2 | | はい。 | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|---|---|---------------------------------|--------------------|
| 護 者 等 へ の 説 明 等 | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 2 | | 子育てを経験している職員から適切に応じ必要な助言を行っている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | | 2 | | 父母会の必要性や開催する目的を確認。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | 鍵付きのキャビネットに保管しております。 | |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 2 | | はい。 | |
| 訪 問 先 施 施 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 2 | | はい。 | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 2 | | はい。訪問先のご都合に合わせてカンファレンスを行っている。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|----------------------------------|
| 施設への説明等 | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 2 | | 訪問後にご家庭のご都合やこちらの対応時間に合わせてもらいながら共有を行っています。 | |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | 鍵付きのキャビネットに保管しております。 | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 2 | | 教育と療育の合わさる部分と合わせていく部分を双方で相談しながら専門的な助言を行います。 | |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | | 社内研修で開催。 | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 2 | | 安全確認の役割があり安全管理を行っています。 | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 2 | | ヒヤリが起きそうな場所や時間帯の確認。再発に向けた検討を行っています。 | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | | 社内研修を行っております。 | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | 2 | | 組織的に決定と十分に説明は行っています。計画書への記載をします。 |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 株式会社 琉球の空 果実の木

公表日 令和8年5月23日

利用児

童数 令和8年3月31日

回収数 10

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-----------------|---|---------------------------------------|----|--------------|-----|-----------|---------------|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 | 4 | | | 5 | しっかり整えられています。 | 訪問支援グッズを購入しております。 支援のサポートに役立てていきます。 |
| | 2 | プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 8 | | | 1 | | 相談室があります。 |
| | 3 | 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 10 | | | | | 保護者様には、契約時に説明を行い 訪問先施設には、会議を設定し説明して おります。 |
| | 4 | 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 9 | | 1 | | 決定されています。 | 児童の困り感に合わせた訪問頻度と日時 で行っております。 |
| | 5 | こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。 | 8 | | | 2 | | 児童福祉サービス経験者の方や有資格者 で訪問支援を行っております。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|--|---|----------------------|---|
| 適切な支援の提供 | 6 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 10 | | | | ものすごく思います。 | 課題に対してスモールステップから導入しステップを上げるタイミングは、専門性(理由・根拠)で行っております。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 10 | | | | 分かりやすいアドバイスに感謝しています。 | 目標に対してペースを保てる範囲で設定し子ども達や訪問員の動きを保てるようにしております。 |
| | 8 | 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。 | 8 | | | 2 | | 施設先の先生の意向も踏まえ方向性を一致させています。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 8 | | | 2 | | 契約時に訪問支援サービスの説明を行っております。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | 計画書を元に今の支援にズレがないか確かめを行いつつ継続できるか確認を行っております。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | 先生のご都合に合わせてながらサポートを基本に行っております。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 9 | | | 1 | | 契約時に運営規定、利用者負担額の説明を行っております。 |
| | 13 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 9 | 1 | | | | 計画書作成後に保護者様へ児発管から説明を行っております。 |

保護者への説明等

| | | | | | | |
|----|--|---|--|---|----------|---|
| 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 | 7 | | 2 | | 家族参加型イベントを開催し情報提供ができる回数を増やしていきたいです。 |
| 15 | 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 8 | | | | 訪問後には、保護者様へご都合の良い 時間帯に状況説明と共通理解を深めて います。 |
| 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | 行われています。 | 子育てに関する助言を誰でもできる体制 を作っています。 |
| 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | | 気持ちに寄り添う事は、社内研修でも 学び実践しております。 |
| 18 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて いるとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにつ いて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応さ れていますか。 | 7 | | | 1 | 児発管や管理者をはじめ、児童指導員 専門職の方とも相談を行っております。 |
| 19 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい ると思いますか。 | 8 | | | | 情報伝達が途切れないよう意識的に 行動しております。 |
| 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援 が行われていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 施設先の学び方やルールを訪問員が さらに分かりやすく子ども達へ伝達しておりま す。 |
| 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容につ いて話し合いが行われていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 施設先のご都合に合わせてながら 話し合いを行っております。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---|--|--|
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 7 | | | 1 | | 訪問員後にご家庭のご都合に合わせてながら共有をしております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | | | 3 | | 活動予定表の配布やSNS等で発信しております。 |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 7 | | | 2 | | 鍵付きのキャビネットに個人情報を保管しております。 |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 4 | | | 4 | | 訪問支援サービスを開始する前の会議にて施設先で起きた緊急時に介入は無し。と説明を行っております。 |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 7 | | | 2 | | 安全を確保(居場所)の確認を行い環境調整を行っております。 |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 6 | | 2 | 1 | とても喜んでいます。 | 訪問支援から得た情報を保護者様や関係者様に共有をする事で成長の報告の数が増えています。 |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 7 | 1 | | 1 | あまり連絡のやり取りがないので行ってるか行っていないのかも分からず子どもに最近来ているか?等聞いている。 | 連絡の抜けで情報を届ける事ができず申し訳ございません。情報共有の必要性を周知します。 |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年5月23日

株式会社 琉球の空 果実の木

利用児童数

令和8年 3月 31日

回収数11

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|------------------------------------|---|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 11 | | | すぐに取り入れる事ができ保育の中でその子に合わせた関りができた。 | 今からできる環境調整や声掛けを今後も発信していきます。 |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 11 | | | 直接支援、客観的に見て下さる等見極めでの対応をして下さっている。 | 必要に応じた介入を意識しており今後も見極めて支援を続けさせていただきます。 |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 11 | | | 疑問や質問にもすぐに対応して下さい | 迅速に対応できるよう知識を言葉と体現ができるよう今後も回答していきます。 |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 10 | 1 | | 困っている事をしっかりと聞いてくれてそれに対する助言を行ってくれた。 | 発信してくれる先生方のおかげで訪問支援の方向性がブレずに支援の展開が実現できています。 |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 11 | | | | 今後とも訪問支援サービスの ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。 |
| 其他のご意見 | | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
| <p>新年度に向けての見通しが持てた。個別指導が助かった。 一緒にサポートができて助かりました。 気づけなかった視点や見方を教えてもらえるので訪問の度に勉強になりました。 デイの様子やお家の状況等細かく共有頂いて学校での教育活動に役立てる事が出来ました。 困った場面の後、フィードバックがあり支援にいかせます。</p> | | | | | | |